2021 年 4 月 16 日

2020 年度「自立援助ホーム支援助成」助成事業実施報告書

団体名　自立援助ホーム　ゆらい

代表者・役職名 氏名　ホーム長　佐々木俊文

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書（精算報告書以外）は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真（2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します）を添付して下さい。

１．申請事業の名称

エアコンを正しく使って地球と体にやさしい生活

２．自立援助ホームの概要（創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで）

NPO 法人越谷らるごは 1990 年に「フリースペースりんごの木」として始まりました。2001 年に NPO 法人越谷らるごを設立し、「フリースクールりんごの木」の事業を始めました。その後、フリースクールでの活動を通して、10 代後半の子どもたちの居場所の必要性を感じ、2012 年「自立援助ホームゆらい」を開設しました。法人の基本理念である「ともに生きる」という思いを大切にしています。

3．プロジェクトの目的とその背景（※応募申請書に記載のものでも可）　250文字程度まで

エアコンの故障が徐々に出始めているため、買い替えを検討しています。入居者がエアコンを適切に使用しつつ、節電や体調管理を意識できるようにしていきたいと考えています。

4．プロジェクトの内容（※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可）　300文字程度まで

入居者の居室 6 室のエアコンの購入・設置、現在使用しているエアコンの撤去・処分を行います。家電量販店で情報収集を行ったところ、春モデル発売前が一番安価とのアドバイスをいただいたので、2021 年に入ってからの購入・設置工事を考えています。

5．プロジェクトの実施で得られた「結果」（OUTPUT。実施回数や参加者数など）、「成果」（OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化）、「社会的な変化」（IMPUCT。事業が社会に与えた影響）などの『効果』　300文字程度まで

エアコンを新しくしたことにより、冷暖房効率が上がったため、以前よりも光熱費をカットすることができました。また、自立援助ホームに入居してくる子はアレルギーを持っている子が多く、花粉症の子も多いです。そのため、部屋干しする子も多く、エアコンの除湿効率が上がったため、服が乾きやすく、部屋にカビが発生しづらくなったかと思います。改めてつけっぱなしへの注意やタイマー機能の使用を伝え、節約への意識を持つように促しました。

6．プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など　300文字まで

開設当初から使用していたエアコンでしたので、故障気味に加えて冷暖房効率も低かったのですが、貴助成金で新しい物に替えることができ、電気代の節約につながりました。入居者が水道光熱費を自ら払うようになるまでは、意識することは難しいですが、今後一人暮らしをする際に、少しでも節約ができるよう、エアコンのタイマーや除湿等を上手に活かせるよう伝えていきます。今後も定期的に掃除や点検をし、大事に使い続けていきたいと思っております。助成していただき、ありがとうございました。

7．参考資料

支援対象事業で作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。	（参考資料あり）・ 特になし

HITACHI